

進行上皮性卵巣癌に対する術前化学療法の至適レジメンに関する研究

1. 研究の対象

2007年1月1日から2016年12月31日の10年間にFIGO：III～IV期の上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断で術前化学療法を受けた方。

2. 研究目的・方法

1. 目的

本研究の目的は、Ⅲ/Ⅳ期上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌に対する術前化学療法（NAC）の至適レジメンを探索することです。

2. 方法

術前化学療法を受けた卵巣癌、卵管癌、腹膜癌患者さんを対象とし、診療録より必要な情報を抽出します。

5. 研究期間

2020年3月1日～ 2021年2月28日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、入院や入院期間の延長を必要とする重篤な合併症の発生状況、等

4. 研究に関する利益相反について

開示すべき利益相反なし。

5. 外部への試料・情報の提供

データは当センターの研究責任者が保管・管理します。情報は各施設で匿名化します。対応表は各施設の研究責任者が保管・管理し、当センターの対応表は当院研究責任者が保管します。

6. 研究組織

三海婦人科癌スタディグループ（Sankai Gynecology Study Group：SGSG）

参加施設 全 35 施設

三海婦人科癌スタディグループ（Sankai Gynecology Study Group：SGSG）

公式ホームページ <http://www.sgsg.biz/>

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒673-8558 明石市北王子町 13-70

兵庫県立がんセンター

婦人科 澁谷 剛志

TEL：078-929-2380 （内線 8202）

E-mail：t-shibu@hp.pref.hyogo.jp

研究責任者：兵庫県立がんセンター 婦人科 澁谷 剛志

研究代表者：兵庫県立がんセンター 婦人科 長尾 昌二